

## 鍋 敷

### ◎「」使用に際して

・この鍋敷は、鎌を防ぐため、酸化被膜をつくる「窯焼き」と、漆を塗つて焼く「焼付漆」が施されていますが、鉄の性質上、使用を重ねるうち、自然に鎌が生じます。鎌に触れる、汚れる場合がありますので、置き場所やお取り扱いにご注意ください。煎茶に浸し絞った布で磨くと鎌を防ぐこともできます。

・熱い鍋などを置きますと、鍋敷に熱が伝わり、鍋を外した後も熱が残ります。また、火のそばに置きますと、熱を持ちしばらく熱い状態が続くことがあります。完全に冷めるまでは、乾いた布巾などを当て、素手では触れないでください。

・脚裏についているチーク製の丸棒は、鍋敷と接地面との接触、熱の伝わり方をやわらげますが、接地面を傷つけたり、熱が伝わることで焦がしたりする可能性があります。置き場所やお取り扱いにご注意ください。

・落下や強い衝撃を与えることは、鍋敷きが割れる原因になりますのでご注意ください。また、急冷することも割れやヒビが起る原因となります。熱くなつた場合は、水などをかけるのではなく、自然に冷ましてください。

・濡れた場合は、乾いた布で水分を拭き取ってください。水分を付着したままにしますと鎌が出やすくなります。また水分は脚についているチーク材を腐食させる原因となりますので、よく乾燥させてください。

・長い間使わずにしまう場合は、本体が完全に乾いた状態で布に包み、湿気の少ないところで保管してください。湿気の多い場所に置いておくと鎌が発生する恐れがあります。

製品には万全を期しておりますが、万一不具合などお気づきの点がございましたら、ご購入店、または左記までご連絡ください。

東屋

〒150-1003三

東京都渋谷区猿楽町五-十四 #106

○三一六四三三一七九八二

contact@azmaya.co.jp

[www.azmaya.co.jp](http://www.azmaya.co.jp)

素材／鋳鉄・漆・チーク 一産地／岩手県水沢 一 製造／及富 ◎ 一 原型／金子哲郎 一  
デザイン／猿山修 ▽ 一 制作／東屋 ■■■  
△ ザイン／猿山修 ▽ 一 制作／東屋 ■■■